

平成29年度庄原市「学びの变革」推進協議会第1回全体研修会 兼 第2回庄原市初任者研修会

平成29年6月14日（水） 庄原市立庄原小学校

庄原市「学びの变革」推進協議会第1回全体研修会については、「学びの变革」パイロット校事業の実践的な研究を推進し、その成果を検証・普及することにより、本市児童生徒の主体的な学びを促進し、学力の向上を図ることを目的に、第2回庄原市初任者研修会については、「学びの变革」パイロット校事業指定校の先進的な授業を参観し、主体的な学びを促す授業づくりについて学び、今後の授業実践に役立てることを目的に研修会を行いました。

【実践報告】 演題：「教科横断的な単元開発について」
発表者：庄原小学校 教諭 高淵 千香子

【研究授業】 教科等：5年2組 算数科「合同な図形」
授業者：庄原小学校 教諭 長谷川 典子
教諭 高淵 千香子

【指導・助言】 広島県北部教育事務所 指導主事 香川 美佳

【指導・講話】 広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 住田 孝正



庄原小作成「カリキュラムマップ」

必要の所だけ 刻ればいんだよ

レベル1
合同な図形をかくときに、必要でないものについて指摘できている。

レベル2
合同な図形をかくときに、必要でないものについて指摘し、その理由を説明している。

レベル3
YUMEKANA学習や日常生活において、合同な図形に関心をもち、合同の決定条件を活用して課題解決をしている。

合同な図形レブリック



庄原市「学びの变革」推進協議会第1回全体研修会



【グループ協議より】

- ◆「振り返りの視点」を本時の導入で児童に示すことで、児童は自己の考えの変容について、しっかり振り返ることができていた。
- ◆「授業のスピードアップ」が必要である。使わせたい言葉を提示する等の工夫が必要である。
- ◆全体で共有した後、グループでの確かめる活動があるとよかった。



【指導・助言等】

- ◆平成30年度「学びの变革」全県展開に向けて、資質・能力の設定において、「知識」が書いてない学校がある。当然、「知識」も付けるべき資質・能力のひとつであるので忘れないこと。
- ◆「課題発見・解決学習」を進めるために、授業を単元で構想することが大切である。「主体的な学びの創造に向けて」のチェックポイントもしっかり活用すること。

【参加者の感想等】

- ◆「付けたい力」や「本時の『深い学び』の具体的な姿」が学習指導案に明記されており、また、「学びの姿ルーブリック」で児童とも共有されていることが大変参考になった。
- ◆学習指導案の「単元計画と評価」の中で、「学びのつながり」を児童の言葉で記載されていることが大変参考になった。「つながり」を意識した単元計画を作成していきたい。
- ◆実践報告後に授業を参観することで、より具体的な姿がイメージできた。
- ◆グループ学習や全体交流で、何をすることが目的（比較・分類など）なのか、その視点を明確にもたせておくことが大切だと分かった。自校でも意識して取り組みたい。
- ◆「つながり」を意識した授業づくりと、教科横断的な単元開発について、取組を進めたい。

第2回庄原市初任者研修会



【参加者の感想等】

- ◆主体的な学びのために、学習課題を明確にし、一步踏み込んだ学習課題を提示することで、子供たちに付けさせたい力を付けられる授業に近づけることが分かった。
- ◆主体的に児童が考えていくために、今、何をするのかということのを的確に示すことが大切なことが分かった。今後、声かけや指示の出し方を工夫していきたい。
- ◆教科横断的な授業についてとても参考になった。本単元で終わるのではなく、その学びを発展的・横断的に活用することで主体的な学びにつながる事が分かった。